

当該設備の概要	設備の名称	「半導体露光装置」
	設備型式	J E I T A 2 5 0

[illegible]

必ず記入してください。本税制における“年度”が指す期間は1～12月となります。（例：2014年3月＝2014年度）

(注)
「生産性」を測る指標は、生産効率、精度、エネルギー効率など様々な指標があり、その指標毎に優劣があるものではありません。したがって、①当該設備（一代前モデル）と二代前モデルの比較、②最新モデルと当該設備の比較において、別々の指標を用いても構いません。

比較指標を用いたと当該設備（一代前モデル）と二代前モデルの数値に加え、それぞれの販売開始年度を必ずご記入ください。

(当該設備(一代前モデル)と二代前モデルの比較)
2010年度販売の当該設備(一代前モデル)の指標(上記処理数)が250枚/時であり、2008年度販売の二代前モデルが200枚/時である場合、
＜経済産業省が資料に掲載している計算式を用いた場合＞
$$\{(250-200) \div 200\} \div 2 \text{年} = \text{年平均} 12.5\% \text{の向上}$$

$$\{ (\text{「当該設備〔一代前モデル〕の指標数値」} - \text{「二代前モデルの指標数値」}) \div \text{「二代前モデルの指標数値」} \} \div (\text{「当該設備〔一代前モデル〕販売開始年度」} - \text{「二代前モデル販売開始年度」})$$

※経済産業省の掲載資料

http://www.meti.go.jp/policy/jigyousaisei/kyousouryoku_kyouka/seisanseikojo/setsumeikai140120.pdf

比較指標を用いた最新モデルと当該設備（一代前モデル）の数値に加え、それぞれの販売開始年度を必ずご記入ください。

（最新モデルと当該設備の比較）
2013年度販売の新モデル指標（上記処理枚数）が300枚／時であり、2010年度販売の当該設備（一代前モデル）が250枚／時である場合、
＜経済産業省が資料に掲載している計算式を用いた場合＞
{(300-250)÷250}÷3年＝年平均6.7%の向上

$$\{ (\text{「最新モデルの指標数値」} - \text{「当該設備〔一代前モデル〕の指標数値」}) \div \text{「当該設備〔一代前モデル〕の指標数値」} \} \div (\text{「最新モデル販売開始年度」} - \text{「当該設備〔一代前モデル〕販売開始年度」})$$

※経済産業省の掲載資料

http://www.meti.go.jp/policy/jigyousaisei/kyousouryoku_kyouka/seisanseikojo/setsumeikai140120.pdf

当該設備が、上記「ソフトウェア組込型機械装置」に該当し、「一代前モデル要件」、「生産性向上要件」の全てに該当する場合のみ、「先端設備の当否」の「1. 該当」にチェックしてください。